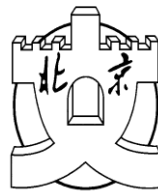


かささぎ



北京日本人学校
学校通信第8号
平成30年12月20日
校長 栗本 和明

今年の北京日本人学校を「漢字一文字」で表すと…

早いもので平成30年も残りわずかとなりました。「平成」という元号も、数か月経つと新しい元号に変わります。

さて、日本では、毎年恒例の「今年の漢字」が話題になる頃です。そこで、今年の本校を漢字一文字で表してみようと振り返ってみます。

- 学校全体では
全校遠足や運動会で、みんなの気持ちがひとつになりました。全員で思い出を共有できた一日でした。忘れられない全校行事でした。
- 中学部では
生徒一人ひとりが役割を担い、責任を果たし、本番に向かって熱心に準備や練習や作品作りに取り組んだ文化祭が素晴らしかったです。展示も発表も内容充実、青春を燃やした特別な取り組みでした。
- 小学部では
学習発表会では粘り強く練習を重ね、工夫を凝らした演目を見事に演じたり発表したりしました。出演直後の児童のみなさんの「やり切った」「ホッとした」という表情が印象に残りました。
- たてわり班では
昼食会や清掃、集会など、活動をする度に仲良しになっていきました。大きい子のリーダーシップが見事でした。同時に、それを支えた全員のフォローシップがよかったです。
- 学級では
各学級で目指している「学級目標」に向かって、一人ひとりが努力を続けました。担任の先生を中心に、しっかりと学級の個性が発揮されています。

このように振り返ると、改めて感じるのは、北京日本人学校の子どもたちは本当によく努力している、ということです。

うーむ…、そろそろ漢字一文字を決めなくちゃ。うーむ……。
そうだ、どの子も輝いているぞ！

漢字は「輝」で決まり！

栗本 和明

中学部文化祭

11月23日、中学部文化祭が行われました。演劇の部・合唱の部・弁論の部・有志の部、そして美術科と中2のコラボ「テキスタイルパフォーマンス」と、盛りだくさんのプログラムでした。

演劇と合唱の部は、小学部の児童も参観。中学生の姿を、真剣な眼差しで見っていました。弁論の部は翌日の弁論大会を控え、レベルの高い内容でした。有志の部は、演



奏ありダンスあり漫才ありと、それぞれの個性が光るものばかりでした。テキスタイルパフォーマンスは、服の素材集めやデザイン、映像や音響などの裏方まで、全てを生徒の力だけで作り上げました。その完成度の高さは目を見張るものでした。

準備期間は約2ヶ月、その間には定期テストもあり、忙しい日々を過ごしていましたが、当日は大きなトラブルもなく、会場中が笑顔に包まれる素晴らしい文化祭となりました。多数の保護者の方々にご参観いただきありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

学習発表会を終えて

11月16日、小学部学習発表会が行われました。たくさんのご参観をいただきありがとうございました。各学年毎にこれまでの練習の成果が十分に発揮された発表だったと思います。当日の温かい拍手のおかげで、子どもたちも達成感を感じることができました。

みんなで1つのものを作り上げる活動はとても有意義で、練習の過程で子どもたちはたくさんのことを学びます。挑戦したことのないことに一から挑戦する子ども。練習を積み重ねることで徐々に上手になり、その積み重ねが当日実を結んだときの充実感は何よりも大きいです。例えば、ピアノが得意な子が学年代表で伴奏する場面。想像を絶する緊張感の中、自分の責任を果たせた自信は、その後のその子の生活にも自信をもたせます。そして何より仲間と一緒に同じ目標に向かって進むこと、その目標が達成された時、その喜びと充実感は何事にも替えがたい思い出となります。

今年の学習発表会もそれぞれの学年でみんな大きな思い出を作ることができました。これからの生活に大きく生きて働くことと期待しています。



ただいま何人？

小学部 平成30年12月20日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	7	8	15	4-1	18	10	28
1-2	7	8	15	4-2	19	10	29
1-3	7	9	16	5-1	12	6	18
2-1	10	10	20	5-2	11	5	16
2-2	11	11	22	6-1	10	11	21
3-1	11	14	25	6-2	11	11	22
3-2	10	15	25	小総計	144	128	272

中学部

1-1	4	5	9	3-1	7	6	13
1-2	6	5	11	3-2	5	5	10
2-1	10	6	16	中総計	42	32	74
2-2	10	5	15	総合計	186	160	346